

平成 24 年 2 月 8 日

記録 齊藤

参加者

保健福祉課課長	與田様
保健福祉課係長	笠原様
企画財政課政策推進室長	星村様
地域包括支援センター室長	釣谷様
緑町 町内会長	首藤様
副町内会長	松木様
「おかいものバス」利用者	佐藤様
ご家族	梶谷様
スタッフ	若狭、松村、久貴谷、村谷、齊藤

久貴谷：今回は 12 月と 1 月の冬季運行結果報告について。1 日平均と 1 人平均は夏と同じくらいの利用。現在、登録して頂いているのは 9 名だが冬は、介護サービス利用者は利用控えさせて頂いている為、夏と比べると人数は減っている。冬になって新しく登録した人が 2 名。そのうちの 1 名は、午前中に利用したいと要望あり 1 度も使っていない。前回の会議で運行にかかった経費を出してほしいという話で、燃料費は、魚町の場合、往復 4.1 km で 312 円、ラルズ、往復 3.2 km で 243 円。ラルズと魚町合わせて、夏場、月 8 回で 4440 円、冬場、月 4 回で 2220 円。人件費はだいたい 1 時間前後で戻って来るので、1 時間として一人当たり、705 円。夏場は 5640 円、冬場は 2820 円との結果が出た。毎回の会議で、町でどうするか話しあっているが、1 度公共交通活性化会議の議題に出したいとのことで、資料をお渡ししたが、どういう結果になったのかを星村様に伺いたい。

星村様：12 月に結成した七飯町の公共交通活性化協議会で今回のハッピーさんの取り組みをふまえて資料をもとに話し合っている。お買い物難民が増えており、今の時代老人の足を守るというのはどこの地域でも課題となり、議論されているが難しい問題。函バスやタクシー等の影響はゼロではないと考えている。事故が心配と考える人もいる。続けていきたいが、お金を融資するとなると厳しい。スーパーで宅配サービスを行っている所もあるので、そういったサービスを周りに周知するのも 1 つの取り組みではないか。お買い物バスとは別だが、新幹線が函館に開通するとお買い物の状況が変わってくるのではないかと。これからも、高齢者が増えてくる

のでお買い物の足を守る事を今後も検討していかなければならないと思う。ハッピーさんでは今後の取り組みはどうするのか知りたい。

久貴谷：今後どうするかというのは考えていない。

星村様：ボランティアで運行する分では良いのでは。

首藤様：他の市町村でもお買い物バスの事を知り、こんなのがあれば良いという声も上がっているし、小地域でやっていくしかないと思う。峠下あたりに大きなスーパーが出来るという話を聞いて、今は魚町、ラルズでやっているがそこに行きたいという人も出て来るのではないかと。町の補助があればいいが、ボランティアでやるとなると、どこかの支援がなければ1事業所が長続きしてやっていくのはちょっと難しいと思う。

星村様：大きいスーパーは5年とか長いスパンで考えている。新聞等、報道で出ているが確定ではない。町の方での弱者対策は今、検討しなければならないが、去年の震災もある等、町の財政的に厳しい。交通事業についても未来大と七飯町と勉強会をひらき、七飯町の交通の事業の案を頂く等し、今考えている。国で補助金が出る函バスやタクシー等の企業も1つの案として考えている。函バス、タクシーの利用者が減ってきているし、七飯町の補助金をバス、タクシーに出している場合もある。また、タクシー会社の利用、バス関係につなげる為のバス停までの足を確保する為どうしたら良いか研究している。七飯町は1部だけではなく七飯全体の取り組みにしていかなければならない。七飯町の財源がどのような形で持つのか。1番大切なのは震災が起こったときの対策費用。地震があつて図書館の設営ものびたし、七飯消防署等、古い建物が多い。七飯町の事業については、厳しい事業の中でどのようにすれば皆さんが助かるのか考えたい。

首藤様：地震の関係で、図書館の設営がのびたのは前に聞いたし、消防署が古いのも分かっている。今回ボランティアバスは、経費がそんなにかかる訳ではないので、なんとか出来ないものかと思って聞いた。皆さんはどう思うか、他の方の意見も聞きたい。

松木様：バスをやってくれると聞いた時は大変ありがたいと思った。前回、経費を出してという話が出て、それに対しての星村さんのボランティアで運行するなら、という活性化協議会での話を聞き、七飯町全体で検討しているのは分かったし、財政の優先順位も分かった。しかし、私はたいしてお金がかからないのであれば続け

て頂きたい。使う人が一番必要としている。

佐藤様：お買い物バスを利用させて頂き、とても申し訳ないと思っている。こんなに便利なものをなぜ、皆が利用しないのか。冬になって 2 週間に 1 回となると、その間に誰かの車で買い物に行く事もあると思う。最初はボランティアだからと軽い気持ちだったが、続けてもらっているうちに金銭面とか何かしら気兼ねしてくる。

若 狭：私は、運転手として利用している方と仲良く話せるようになってきた。コストが、かからないのであれば、町に負担して欲しいと佐藤さんは言わなかったのは、町に優先順位があるのは分かるが、瓦礫の処理や修理費等、それを除いてまで、ボランティアバスを運行してもらうのは申し訳ないと思ったのではないか。

松 村：私、個人的には続けたいが、スタッフは時間を割かなければならない。主は介護。介護を優先にしなければならない時もある。1 番良いのはボランティアではなく、無理かもしれないが、町でやってもらえれば良いのかと思うが。

村 谷：普段は添乗でバスに乗らせて頂いているが、皆、喜んでくれているし力になれていると思う。個人の意見だが、今回の 3 ヶ月間で介護サービス利用している方は利用できなくなり、連絡が伝わっていなかったのか、介護サービスを利用している方から、使いたいと電話が来て説明したが、すごく残念そうにしていた。買物をヘルパーさんをお願いすることは出来るが、実際に自分で行って、目で見て選びたいと思うだろうし、それが介護予防にもなると思う。ヘルパーさんを付き添いにして行くにも送迎はサービスに含まれないので、負担になると思う。制度的に無理なのかもしれないが。

釣谷様：やっぱり、目で見て選ぶというのは大事な事は分かる。制度的にこれはダメ、これは出来るという区切りが難しい。ボランティアでは難しいという意見もあって、緑町の中でこの GH が地域と連携、貢献していかなければならないという繋がりは大事だし、この取り組みは、連携作りの 1 つのきっかけになったと思う。しかし、このような結果になる事はある程度予測されている。数字的に見ると施設に負担になっていると思う。利用者にとってはとても良い事だが、やっていくのは大変。あくまでもお買い物バスはボランティアだという事を忘れないで欲しい。

久貴谷：私達も地域に貢献したい。入居者が認知症の方なので、火災、地震等の時に地域と連携を保つ為の保険も必要。アンケートをとったからには、やらないという訳にはいかない。試行としてやった。首藤さんが言った通り、やっぱり長期

的に考えると、続けていくのは難しくなる。町になんとかして欲しいとかではなく、前年度はお食事会として工作、入浴等を行っていたが、今なにが必要かと考えた時に、緑町は坂が多く、お買い物に不便を感じている人の手助けがしたいという思いで試行していた。夏に比べ、冬はもっと必要性があるのではないかと思いい、12月からもう3ヶ月試行した。

若 狭：今は、緑町でしか運行はしないが、実際試行でもサービスを利用している方は大変助かっているし、緑町だけではなく、他の地域でもそのようなお買い物の問題が出て来ると思う。しかし、緑町では、近くにお店がないし、バス停からも離れているので、そのニーズが1番高いのではないかと思いい、試行した。

釣谷様：結果が全てだと思う。なくなってしまおうという、そのような考えは出来ない。

久貴谷：他の地域でも教えて欲しいというのもあり、うちの事業所は他に鳴川、大沼にあるので、次は鳴川の会長さんや地域のケアマネさんも呼び、緑町の結果、運行状況を伝えていきたい。

星村様：経費はガソリン代や人件費だけではなく、車両の原価消却費もある。やるとなると函バスのルートを4地域にかけてまわる為、4台のバスが必要。人件費、ガソリン代等、含め年間1千万円以上かかる。タクシーに切り替わると国で補助できるし、今タクシーは利用する人が少ないので、事業は大変苦勞している。七飯町の全体の交通弱者に何か出来るのではないか、皆さんも考えて欲しい。

松木様：国土交通省が5年前に地域のコミュニティバスを出し地域の弱者の足を確保しましょうとの案を出したが、なかなか進んでいない。今、言っていたように4台のバスを使い1千万円以上かかるとなると、結局続かない。原価昇格費等の経費を全て出して同じ時間やってどうか、きちんと出して考えて頂きたい。それに加えて、保険、車検、修理費もかかる。それを全部出さないと、きちんと考えてないのではないか。きちんとやる為には、正確な費用を出す必要がある。

久貴谷：人件費は2人分出してなかった。倍で計算して欲しい。

星村様：前に、中村社長とお買いの物の足を確保する為、何か良い方法がないか考えましょうとの事で陸運局も入れて話しあったが、はっきり良いとは言えない状況。函バスは国からも補助金でてる。タクシーも国からももらえないか、利用者からももらい。町もなんらかの形で出す。という考えでやっている。

若 狭：配食サービスがあるが、七飯町の人が作り 1 件 1 件配っているのではなく、ある程度の事業所に委託している。買い物難民は今、1 番のニーズ。お買い物は今後の課題でもある。

久貴谷：冬の運行は 2 月で終わる。今回話し合ったことをふまえて、次の会議で話し合いたい。

他、質問等ない為、終了とする。